



等身の半分ほどある大きさのひょうたんのオブジェを抱える守住さん



風情ある花器も守住さんの手作り

「私が小さい頃は、大きな木が石を抱くようにして立っていました。数年前に雷が落ちて木は倒れましたが、毎年2月中旬に供養が行われます」と教えてくれたのは、安永1町内区長の山内英敏さん(76)です。

など、次々と紹介してくれました。安永3町内の民家の敷地内に「香の木さん」の板碑が立っています。広安村郷土史によると昔、修行僧がここを墓所と定めて念仏を2、3日ほど唱えた後、絶命したと伝えられています。また、歯の神様ともいわれています。

地震後の新築の家が建ち並ぶ安永2町内を歩いていると、元気な声が聞こえてきます。「あじさい保育園幼稚園」の天使たちが園庭で思いっきり体を動かしていました。年長組の秋津川での散歩にお付き合いさせてもらいました。

土手では駆けっこが始まりました。「よいい、どんっ！」の合図とともに、子どもたちが笑顔を携えていっせいに走り出すと、渡り鳥のカモの群れも飛び立ちます。冬空を舞う鳥を慕うようにこだまする、子どもたちの愛らしい声。何とも、ほのぼのとした光景でした。

元気に駆けっこ



穏やかな人柄の安永1町内区長の山内さん



現在、香の木さんは板碑が祭られています

散歩の終わりに

今回の「わがまち散歩」は、これまでで最も多くの人たちに出会うことができました。どんどやで、子どもたちと一緒に童心に戻った大人たちや、はつらつと体操を楽しむ人々、そして愛らしい園児たちなど、紙面には最高人数のご登場となりました。

この出会いに感謝。そしてありがとうございました。



安永2町内にある「あじさい保育園幼稚園」



あじさい保育園幼稚園の年長組の皆さんと先生たち。み～んないい笑顔です